

日本学術会議（第2部）臨床医学委員会・基礎医学委員会合同法医学分科会（第25期・第2回）議事録要旨

日時：令和4年6月6日（月）18:00~19:00

会場：オンライン（Zoom）

出席者：鮎澤純子、田中純子、中山淳、西谷陽子、橋本優子、藤田眞幸、増田しのぶ、松本博志、吉村公雄（敬称略）

欠席者：木田真紀、末松誠（敬称略）

議題：

(1) 前回議事要旨案の承認について

- ・前回議事録要旨案についての確認がなされ、承認された。

(2) 卒後進路のアンケート結果の再確認と報告までの予定

- ・この分科会の目標として第24期にまとめたアンケートをもとに第25期に報告の形で意見を表出し、医学論文のような形で世の中に出す予定である。アンケート結果の再確認と今後の分析方向について検討した。また、卒後進路について各大学での取り組みについて意見交換が行われた。

(3) 今後の死因究明制度の展望について

- ・西谷委員より厚生労働省からの資料で令和3年6月より動き出し「死因究明等推進計画」およびその中の「死因究明等に関し講ずべき施策」として挙げられる9項目について説明があった。松本委員より追加で行政が実施している各取り組みについて紹介があった。死因究明について今後の展望に関して、厚労省の特別顧問をしていてWHO事務局長補をしていた中谷比呂樹先生をお呼びして講演を依頼をする方向につて各委員より了承された。

(4) 世界における法医学者の確保の状況について

- ・国際的な情報を収集について現状と今後の展望について意見交換がなされた。

(5) 法医と専門医制度との係わりについて

- ・日本法医学会法医認定医制度の現状と専門医機構の現状について紹介され、今後法医学が専門医制度にどのように関わるかについて意見交換がなされた。
- ・死因究明制度の話と専門医の話について、この委員会でお願ひすることとなった。
- ・第3回会議は10月~11月で年内にという形で日程調整を行うこととなった。
- ・その他、意見があったら事務局までお願ひすることとなった。